

## 島嶼部における地域活性化に向けた取り組み ～香川大学小豆島SAKATEプロジェクトを事例として～

○江草 美里\*1・川合 隼平\*1・嶽野 祥吾\*1・田中 隆太郎\*2・古川 尚幸\*\*  
(香川大学農学部生\*1、香川大学教育学部生\*2、香川大学経済学部教授\*\*)

### 【プロジェクトの目的】

小豆島坂手地区において、香川大学生が主体となり、地域活性化の一翼を担うことにある。

#### 小豆島・坂手地区の現状

小豆島は、高松市から約20km北東に位置し、小豆島町と土庄町の2つの町からなる瀬戸内海で2番目に大きな島である。



以前の坂手地区は・・・  
映画のロケ地になるほど活気あふれる街



▼壺井栄

しかし現在の坂手は・・・

少子高齢化

空き家の増加

#### ○小豆島(香川県)について

【面積】 153平方キロメートル  
(瀬戸内海2番目の大きさ)

【人口】 小豆島町 **14,736人**  
土庄町 **15,123人**  
(平成22年国税調査)

【名産物】醤油・オリーブオイル・そうめん

#### ○坂手地区(小豆島町)について

【総人口】 **590人**

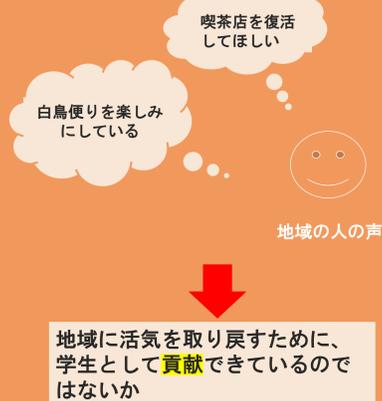
【世帯数】 **254世帯**

【その他】 壺井栄の出身地  
(二十四の瞳の作者)

### 2018年度 活動報告

- 1月 新年会
- 2月 全国まちづくりカレッジ
- 3月 坂手住民とお花見
- 4月 蒸しパン販売イベント
- 5月 新入生歓迎ツアー
- 6月 新入生歓迎パーティー
- 7月 港まつり
- 8月 海の家
- 9月 空き家イベント
- 10月 坂手太鼓祭り
- 11月 大学祭
- 12月 忘年会

### 活動を通して



### 豆Pとは？

地域に親しまれていた喫茶白鳥  
コミュニティカフェとして復活させたい



2013年3月  
喫茶白鳥リニューアルオープン

2016年11月～  
諸事情によりカフェ活動を休止  
現在・・・  
喫茶白鳥復活への取り組み

#### ○現在の活動

1、地域情報誌「白鳥だより」の発行



白鳥だより  
坂手地区の情報、プロジェクトの活動報告を掲載したもの  
月1回、メンバーが発行一軒一軒手渡しして配布



清掃活動  
坂手地区の神社やお花畑、杏園など自分たちで清掃スポットを探す

3、地域のイベントへの企画・参加

地域住民とお花見



蒸しパン販売



坂手港まつりへの参加



4、海の家「だいた家」の経営



海の家「だいた家」  
【期間】8月のお盆  
【場所】瀬戸の浜  
瀬戸の浜に来てくださった方と交流イベントも実施

### プロジェクトのこれから取り組むべき課題

1. 島外を対象とした取り組み

小豆島の魅力を島外に発信  
⇒観光客が訪れてもらうための取り組み

2. 島内を対象とした取り組み

坂手地区で有名であった果樹  
「徳本あんず」の復活



### 【地域への取り組み】

このプロジェクトでは、坂手地区の情報やプロジェクトの活動報告を掲載した地域情報誌「白鳥だより」の発行、坂手地区の清掃活動や地域のイベントへの参加、そして期間限定「海の家だいた家」の運営など、継続して取り組んでいる。「白鳥便り」は、学生の手で分担して毎月発行しており、一軒一軒手渡しで配布しており、地域住民とのコミュニケーションの醸成だけでなく、月1回ではあるが地域の高齢者の見守りの役割も果たしている。また、地域イベントへの積極的な参加、地域イベントの企画・運営、さらに坂手地区におけるコミュニティカフェの復活を目指した取り組みも行っている。

### 【プロジェクトのこれから】

このプロジェクトのこれから取り組むべき課題として、大きく2つに分けることができる。ひとつは、島外を対象とした取り組みである。小豆島の魅力を島外に発信し、小豆島はもちろん坂手地区に観光客が訪れてもらうための取り組みである。もうひとつは、島内を対象とした取り組みである。以前の坂手地区ではよく見られていた果樹である「徳本あんず」の復活に取り組んでいる。この徳本あんずを地域のシンボルとして復活させることで、地域との繋がりをさらに深め、様々なコミュニティ活動をこれからも積極的に行っていきたい。